

江戸幕府の終わりと新しい国づくり

—幕末・明治維新—

6年社会 9月～10月 36Q (12時間)
 附属新潟小学校 教諭 大矢 和憲

1 目指す姿

- 「その頃の日本は、国内外に様々な問題を抱えていて危機的な状況にあった。だから、維新の志士たちは、これからの日本のことを考えて、国を統一し、外国に負けない強い国をつくるために天皇を中心とした明治政府をつくった」などと、社会や国家の課題と、事象の目的と結果を総合して、明治維新の意味をとらえる子ども。

(1) 中核的な知識や技能：明治維新の意味

(2) 学びをつなぐ力：

- ① 関係付けるすべを用いて、予想を手掛かりに「対象」を調べ、学習問題の解決につながる情報を収集する力
- ② 比較する・関係付けるすべを用いて、学習問題の解決につながる複数の情報を結び付け、明治維新の意味を考える力

2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幕末の世界情勢を調べる。 ○ イギリスなどヨーロッパの国々が強く、アジアの国々は領土を奪われたり植民地にされたりしたんだ。 ○ 黒船が来航した当時の人々の気持ちを考える。 ○ 日米和親条約の内容と日米修好通商条約の内容を比べ、気付いたことを発表する。 ○ 日本にとって不平等な条約を外国と結んでしまったんだ。まずいな。 ○ 一揆・打ちこわしの絵図やグラフ、当時の物価のグラフなどから、当時の国内の状況を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 19世紀の世界勢力地図を提示し、日本が江戸時代だった頃、世界でどのようなことが起きていたのかを調べさせる。 ◆ 分かったことをまとめさせる。 ◆ 黒船来航絵図、黒船の装備、ペリーの似顔絵などの資料を提示する。 ◆ 当時の人々の気持ちを問う。 ◆ アメリカ大領領の国書を提示し、日米和親条約を結んだ事実を伝える。 ◆ 日米和親条約と修好通商条約の内容が分かる資料を提示する。 ◆ 当時、アメリカ以外の国々も日本にやってきたことが分かる地図を提示し、同様に条約を結んだことを調べさせる。 ◆ 一揆・打ちこわしの絵図やグラフ、当時の物価のグラフなどを提示し、当時の人々の気持ちを問う。 	6 Q 2 時間
二 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大政奉還図と五箇条の御誓文絵図から気付いたことを発表する。 ○ 大政奉還と明治政府樹立の事実から疑問に思うことを発表する。 ○ 学習問題をつくり、予想を考える。 ◎ 維新の志士たちは、なぜ、今まで政治をしてきた江戸幕府に大政奉還をさせて天皇を中心とした明治政府をつくったのだろうか。 <p>【既有事項】 当時の国内の状況と世界の状況についての知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料（「対象」）を調べ、分かったことを付箋紙に書く。 ☆つなぐ力① ○ 学習問題の解決につながる情報を小グループで整理し、学習問題についてのストーリーをつくる。 ○ 全体で学習問題の結論を考える。 ☆つなぐ力② 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大政奉還図と、五箇条の御誓文絵図、維新の志士の画像を提示し、気付いたこと、疑問に思うこと、これからみんなで考えたいことを問う。 【働き掛け1】 ◆ 大政奉還と明治政府発足の要因となる状況が分かる資料（「対象」）を提示し、調べて分かったことを付箋紙に書かせる。【働き掛け2】 ◆ 小グループに「ストーリーマップ」を配付し、学習問題についてのストーリーを問う。 【働き掛け3】 	15 Q 5 時間

	<p>○ 資料を確かめ、学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。</p> <p>○ その頃の日本は、国内外に様々な問題を抱えていて危機的な状況にあった。だから、維新の志士たちは、これからの日本のことを考えて、国を統一し、外国に負けない強い国をつくるために天皇を中心とした明治政府をつくったんだ。</p> <p>○ 外国に負けない強い国をつくるために必要なことを考える。</p> <p>◎ 外国に負けない強い国をつくるために、どのようなことをしたのだろうか。</p> <p>○ 明治政府がしたこととその結果を調べてまとめる。</p> <p>○ 調べて分かったことを発表する。</p> <p>○ 戊辰戦争の事実から、学習問題をつくる。</p> <p>◎ 新潟でも戦いが起きている。どのような戦いがあったのだろうか。</p> <p>○ 戊辰戦争について調べ、分かったことをまとめる。</p>	<p>◆ 大政奉還上奏文・五箇条の御誓文の資料を提示し、学習のまとめを記述させる。 【働き掛け4】</p> <p>◆ 2つのふり返りの観点を示し、社会科日記を書かせる。【自覚を促す働き掛け】</p> <p>◆ 外国に負けない強い国をつくるために必要なことを問う。</p> <p>◆ これからみんなで調べたいことを問う。</p> <p>◆ 教科書や資料集で、明治政府がしたことと、その結果を調べさせる。</p> <p>※ 政策とその結果、中心となった人物を具体的に調べさせる。</p> <p>※ 調べる範囲を限定する（政府の改革と富国強兵に関すること）。</p> <p>◆ 北越戊辰戦争絵図や幕末時の幕府軍政府軍の戦力データ、戦争の結果を提示し、これからみんなで調べたいことを問う。</p> <p>◆ 新潟県に関わる人・ことを中心とした資料を提示し、調べさせる。</p> <p>※ 護国神社の石碑を見学に行く（授業外）。</p>
<p>三 次</p>	<p>○ 江戸時代と明治時代のまちの様子を比べ、気付いたことを発表する。</p> <p>◎ 他にどんなことが変わったのだろうか。</p> <p>○ 資料や新潟市歴史博物館の見学で文明開化について調べ、分かったことをまとめる。</p> <p>○ 山際七司と自由民権運動について調べる。</p> <p>○ 板垣退助・大隈重信・伊藤博文について調べる。</p> <p>○ 国会の開設と大日本帝国憲法について調べる。</p> <p>○ 単元のまとめとして、「明治維新ストーリー」をつくって発表する。</p> <p>○ 日本は西洋の進んだ国の制度や文化を取り入れて、今の日本に近い新しい国になった。当時の人々が頑張ったから、今のわたしたちのくらしがあるんだな。</p> <p>○ これまでの学習をふり返り、まだ解決されていない問題は何か考える。</p> <p>◎ まだ、肝心の不平等条約が解決されていないぞ。</p>	<p>◆ まず、江戸末と明治初めの東京のまち絵図を提示し、気付いたことを問う。次に、旧新潟税関の写真を提示する。</p> <p>◆ これからみんなで調べたいことを問う。</p> <p>◆ 教科書や資料で、くらしや制度の変化を中心に調べさせる。</p> <p>※ 「越後佐渡ヒストリア」など、新潟県における文明開化が分かる資料も提示する。</p> <p>※ 新潟市歴史博物館に見学に行く。</p> <p>◆ 山際七司の写真を提示し、何をした人なのか問う。その後、山際七司と自由民権運動について分かる資料を提示する。</p> <p>◆ 板垣退助・大隈重信・伊藤博文の写真を提示し、何をした人なのか問う。その後、それぞれの人物について調べさせる。</p> <p>◆ 国会・大日本帝国憲法・衆議院議員総選挙について資料で調べさせる。</p> <p>◆ これまでの学習で分かったことを問い、それらを基に、「明治維新ストーリー」をつくることを提案する。</p> <p>※ ipadのアプリで簡単なプレゼンテーションをつくらせる（グループ活動）。</p> <p>※ プレゼンテーションをさせる。</p> <p>◆ 2次で考えた、「外国に負けない強い国をつくるために必要なこと」を提示し、当時の問題をすべて解決できたかどうか問う。</p>

15
Q
5
時間

3 内容の関連

